第１回　竹原市子ども・子育て会議議事録要旨

令和８年10月８日（木）竹原市役所１階　会議室３

１．開会

欠席委員４名

２．協議事項

（１）竹原市こども計画の進捗状況等について

以下の資料により事務局から説明

・資料１　竹原市こども計画進捗状況及び確保方策

【質問・意見】

会長　　質問や意見はあるか。

会長　　朝ごはんを毎朝食べる中学生等の割合について、目標値を100%としているが、具体的に指導や周知はしているのか。

委員　　３年前に調査したときには、朝ごはんを食べる時間がない中学生が多いことが分かった。家に帰って遅くまでスマートフォンでゲーム等をしている時間が多い。学校では、家庭への呼びかけをお願いしているが、家庭の協力がないと難しい部分もある。100%への困難性はあるが、可能な限り近づけていき、将来的には100%を目指していきたいと思っている。

会長　　市の特徴として生活リズムが大切だと聞いて、学校の中で生活リズムの確立を含めて指導してもらえたらと思う。

委員　　この地域で子育てしたいと思う親の割合について、計画時の98.8%に対して令和７年度は87%と大きく下がっているが、理由は分かるか。

事務局　生後４～５か月児健診時のアンケートを基にしており、すべての人に聞き取りを行えたわけではないが、竹原市からの転出がすでに決まっている方の回答もあり、今後は竹原市で子育てをしたいと思ってもらえるような施策等を検討していきたい。

委員　　産後ケアについて、対象施設が増えてよかったと思うが、手軽に予約が取れないという声も聞く。スムーズに予約が取れるようにならないか。

事務局　予約が取りにくい点は認識している。例えば、複数回の利用が決まっている方については、１回の申請で手続きが終わるよう案内をしている。今後もそれぞれのニーズに応じて、産後ケアを利用してもらえるよう取り組んでいく。

会長　　他に何かあるか。

（質問・意見の発言無し）

（２）公立こども園の利用定員の見直しについて

以下の資料により事務局から説明

・資料２　公立こども園の利用定員の見直しについて

【質問･意見】

会長　　質問や意見はあるか。

委員　　竹原、吉名地区が対象だが、忠海、北部地区は変わらないということか。

事務局　公立こども園は忠海、北部地区にないので、今回の変更対象にしていない。

会長　　こどもが少なくなっている現状、それに対応した定員減少は理解できる。公立のみではなく、私立とも連携も取るべきかと思うが、単に公立が対応していくことが、本市のこども計画の方向性と理解してよいか。

事務局　見込み量計算の際には、市全体の人口推移等を見ながら決めている。忠海地区に関しては、今年度から私立２園が１園に統合され、こどもの数に応じた運営がされている。公立、私立とそれぞれの良さがあるが、共存して竹原市のこどもを育てていくという観点で、今回は公立こども園の定員を調整している。

委員　　北部地区においては少子化の波があるが、定員変更については特性上、三原市、東広島市の広域入園も見込まれる。市の見込み量とは違った視点で考えながらも、将来的には定員減少を考えざるを得ない。今後も市と連携を取りながら、定員変更を考える必要がある。

会長　　他に何かあるか。

（質問・意見の発言無し）

３　閉会

以上